



取扱説明書

■レシプロオイルフリーコンプレッサ

Oilfree

タンクマウント形

0FP-07CB

このたびは、レシプロオイルフリーコンプレッサをお買いあげ
いただきありがとうございました。

- ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。
- お読みになった後は、本書を手近な所に保管しご活用ください。

※下表の空欄に必要事項をご記入ください。

修理・サービスの際に必要となります。



形 式 MODEL	
製造番号 SERIAL NO.	
購 入 先	
購入年月	年 月 日
使用開始日	年 月 日

はじめに




保証について

この取扱説明書には、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。


その表示と図記号の意味は次のようになっています。

 警告	この指示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、又は物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■絵表示例

	△記号は「注意すべきこと」を意味しています。 この記号の中や近くに具体的な内容を表示します。 (左の例は感電注意)
	○この記号は「してはいけないこと」を意味しています。 この記号の近くに、具体的な禁止内容を表示します。 (左の例は接触禁止)
	●この記号は「しなければならないこと」を意味しています。 この記号の中に、具体的な指示内容を表示します。 (左の例は必ずアース線を接続せよ)

■補足表示

 お願い	この記号は、機械の性能や機能を十分に発揮してお使いいただくために守っていただきたい内容を示しています。
--	---

■警告、注意の表示を無視して使用した場合の損害および損傷については、当社は一切責任を負えませんのでご了承願います。

■法律による届出（騒音規制法および振動規制法）

7. 5 kW以上の空気圧縮機を設置の場合は、届出の対象となります。運用は都道府県条例により規制内容が異なります。詳細は所轄の区・市・町・村役場の公害担当課へお問い合わせください。

届出場所	所轄の区・市・町・村役場の公害担当課
届出期日	設置工事開始または変更の30日前
届出内容	新設届 導入数の変更届

※設置の際、工場又は事業所の敷地境界線上で騒音振動が、地域で定められた規制値以下を守らなければなりません。

■この商品の保証について

巻末に保証と修理サービスについての説明があります。内容をよくお読みください。








■アネスト岩田は、ISO9001 認証取得企業です。





目次

安全上のご注意	01
警告	01
注意	01
警告表示貼り付け位置	02
現品確認・各部の名称	03
現品確認	03
付属品一覧	03
各部の名称	03
設置場所	04
配管・配線・試運転	05
配管	05
配線	05
試運転	05～06
日常運転の管理	07
保守・点検	08
保守・点検一覧表	08
分解上の注意	09
組立上の注意	09
部品の購入について	09
機能点検	10
制御機器の設定圧力と調整	10
故障の原因と対策	11
立体分解図・部品表	12～13
主要仕様	14
保証と修理サービス	巻末






安全上のご注意

ここに示した内容は、安全に関する重大な内容ですので、
ご使用前に、よくお読みのうえ正しくお使いください。

 警 告	
<p>爆発性ガス、引火性ガス（アセチレン・プロパンガスなど）・可燃物 のない場所に設置してください。 ※爆発・発火の原因となります。</p>	 安全な場所に 設置する
<p>圧力開閉器など、配線作業・点検の時は、コンセントを抜くかブレーカー のスイッチを切る等、必ず元電源を切ってください。 ※感電の危険があります。</p>	 電源の遮断
<p>元電源が入った状態で回転部に手を触れないでください。 ※手が巻き込まれる恐れがあります。</p>	 接触禁止
<p>アース配線を必ず行ってください。 ※感電や火災の原因となります。</p>	 アースを接続する
<p>空気以外の気体の圧縮には絶対使用しないでください。 ※爆発・火災・破損などの原因となります。</p>	 空気以外のガスの圧縮禁止
<p>圧縮空気を直接吸引する呼吸器系の機器には使用しないでください。 ※人体に重大な傷害を与える危険があります。</p>	 使用禁止
<p>圧縮空気を人命に関わる設備に使用しないでください。（使用する場合は 必ず安全装置を装備してください） ※人体に重大な傷害を与える危険があります。</p>	 使用禁止
<p>屋外に設置しないでください。 ※本製品は耐水構造になっていません。電気系統に雨水がかかると漏電 や火災事故を起こす恐れがあります。</p>	 屋外設置禁止

 注 意	
<p>運転中や運転直後は圧縮機各部に直接手を触れないでください。 ※火傷する恐れがあります。</p>	 接触禁止
<p>安全弁の作動確認を週に1回は行ってください。 ※空気タンクの破損の危険があります。 点検方法 最高圧力の近くで頭部の心棒をつまみ上げ、 噴出が確認できたら心棒を押し下げ、噴出を止める。</p>	 点検をする
<p>日本国内専用品です。 ※海外では電気仕様が異なるので使用できません。</p>	 禁止

安全上のご注意

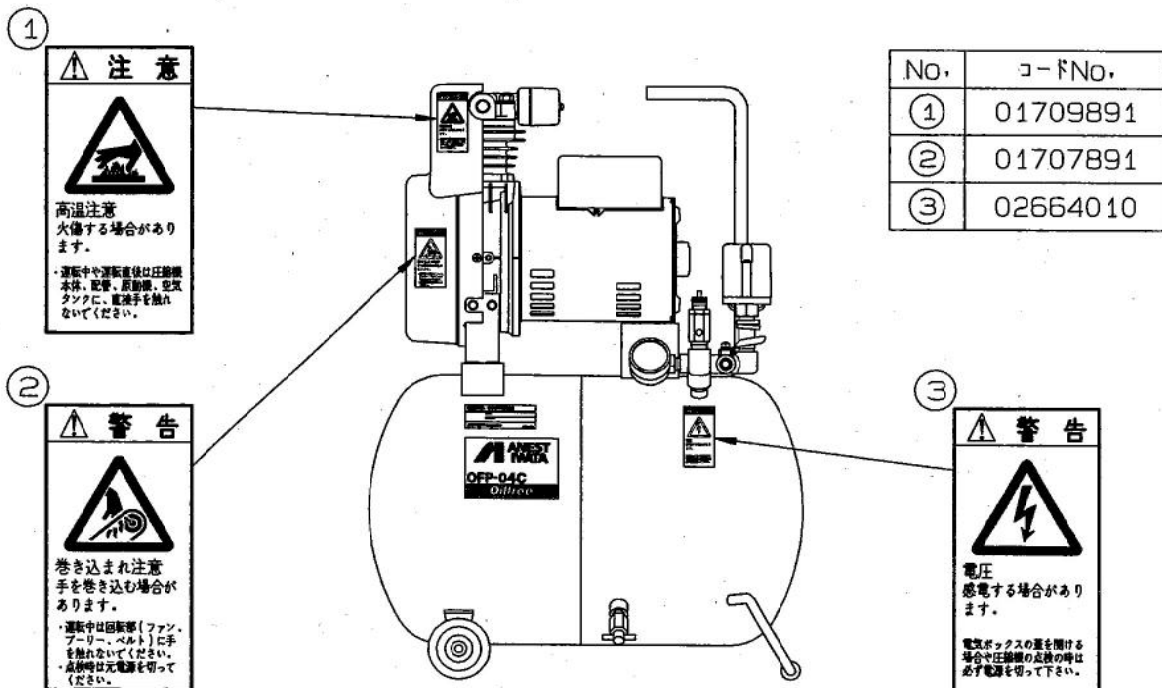
📄 お 願 い	
<p>製品の改造はしないでください。 ※破損事故や寿命低下の原因となります。</p>	 改造禁止
<p>定期的に保守・整備を行ってください。 ※破損事故や寿命低下の原因となります。</p>	 保守点検実施
<p>修理は専門の業者に依頼してください。 ※修理に不備があると破損事故や寿命低下の原因となります。</p>	 修理依頼
<p>周囲温度が2～40℃（運転中）の場所で使用してください。 ※0℃以下では、ドレンの凍結により、故障の原因となります。 40℃以上では、寿命低下や故障の原因となります</p>	 規定温度で使用する
<p>安全な場所に設置してください。 ○水平で基礎がしっかりしている場所 ○車輪・脚は4つ共床面に設置させる ○鉄粉・石粉・研磨粉・木屑などのごみやほこりの少ない場所 ○圧縮機の周囲に人が入って、十分に点検できるスペースを取る ○腐蝕性ガス（アンモニア・酸・塩分・亜硫酸ガスなど）のない場所 ※性能低下や寿命低下の原因となります。</p>	 安全な設置をする

警告表示貼り付け位置

警告表示は常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は新しいものに貼り直してください。

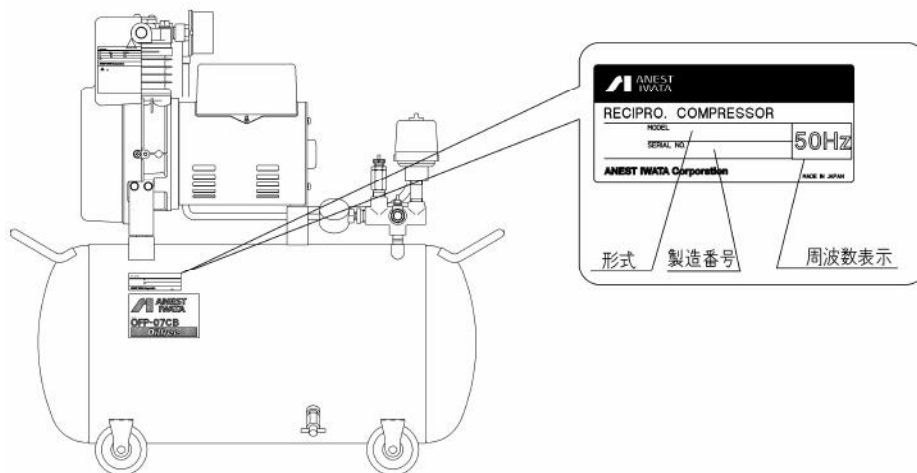
表示銘板は最寄りの販売店又は当社支店・営業所に申し付けください。

代表形式を図示しておりますので、形式により外観形状と貼り付け位置の一部が異なります。



現品確認・各部名称

形式・周波数をご注文どおりか、現品を確認してください。



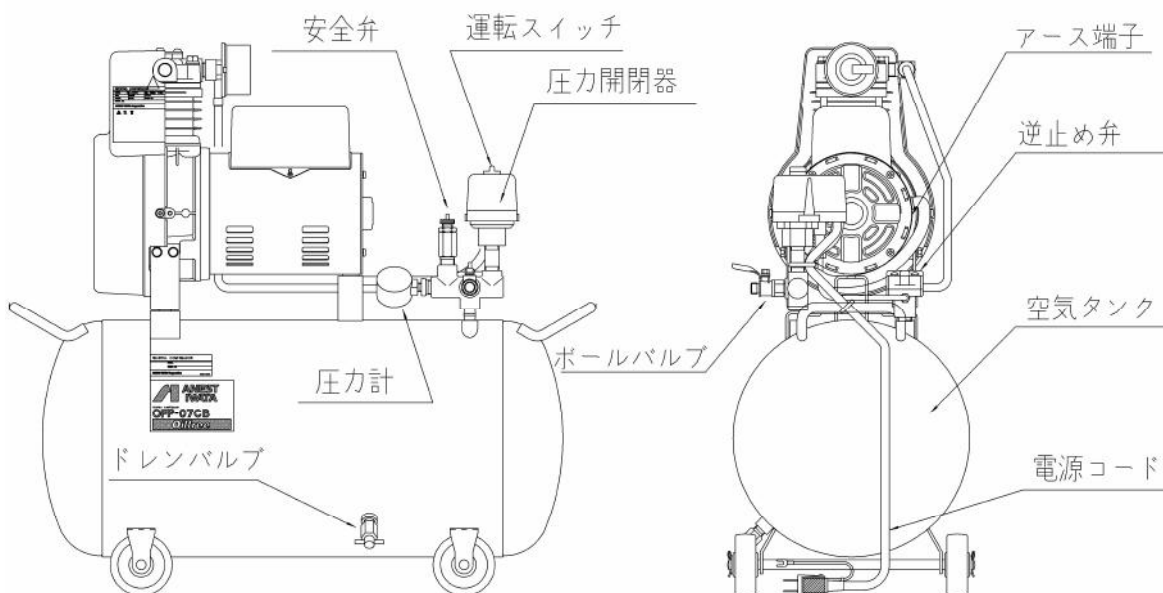
輸送中に変形や破損した箇所がないか確認してください。

- 付属品の確認
付属品があるか 確認してください。

◎取扱説明書 1部

◎ホース継手 AJ-4 1個

- 各部の名称名称
代表形式を図示しています。形式により外形形状が異なります。



設置場所



警告

室内で湿気の少ない場所に設置してください。

- 雨水がかかったり、湿気の多い場所（湿度85%以上）では、電気系統の漏電や火災事故を起こす危険があります。

近くに爆発性ガス、引火性ガス（アセチレン・プロパンガスなど）可燃物のない場所に設置してください。

- 不適当な場所では、爆発・発火事故の原因になります。



注意

ゴミやほこりの少ない場所を選んでください。

- 鉄粉・石粉・研磨粉・木屑などを吸い込むと、吸込濾過器濾層の目詰まりによる性能低下や圧縮機内部の異常摩耗を生じさせ、圧縮機の破損の原因になることがあります。



お願い

周囲温度が2℃から40℃で腐食性ガスのない場所でご使用ください。

- 0℃以下の使用は、ドレンの凍結により圧縮機各部に作動不良が発生する原因となります。
- 40℃以上の使用は、ベアリンググリスの劣化やピストンリングの摩耗を早め、寿命低下の原因となります。
- 腐食性ガスの雰囲気での使用は、圧縮機の寿命低下の原因となりますので、換気に十分ご注意ください。

壁面と30cm以上離して設置してください。

- 壁面に近い設置は、圧縮機の冷却効果を低下させ、寿命低下の原因となります。水平で基礎がしっかりしている場所を選び、車輪・脚は4個とも床面に設置してください。

- 設置が不安定だと、異常振動や異音が発生する原因となります。

保守・点検が容易にできる場所をお選びください。

- 圧縮機の周囲に人が入って、十分に点検できるスペースを確保ください。

※次の場合は、必ず最寄りの当社支店・営業所にご相談ください。



お願い

- 屋外で使いたい場合
- 圧力等を変更したい場合
- 密閉された室内で使われる場合
- 箱に入れて使いたい場合
- その他、特殊な用途・場所で使用する場合
- 圧縮機本体のみをお買い上げで、セット化してご使用する場合

配管・配線・試運転

配管

鋼管で配管する場合は、圧縮機のボールバルブと鋼管の間をゴムホースやフレキシブルチューブで中継してください。

●鋼管に直接接続すると、振動により配管に亀裂が生じることがあります。

ゴムホースは、耐圧・耐熱用（JIS K-6333「酸素用ゴムホース」、または JIS K-6349「液圧用高圧ゴムホース」）をご使用ください。

●ホースの両端に使うネジ継手は、ホースメーカー指定のものをご使用ください。

立上がり配管がある場合は、必ず下部にドレン溜まりとドレン抜きを設けてください。

配線

警告

配線作業は、必ずコンセントを抜くかブレーカーのスイッチを切るなど元電源を切ってから行ってください。
※感電の危険があります。

配線容量は右記のとおりです。

※配線が長すぎたり(20m以上)、規定より細い場合には電圧が低下し電動機が起動しなかったり、焼損の原因となります。

※右表の線の太さは長さが20m以下を基準としたものです。

kW	電 源	電源コード mm ²	ヒューズ A
0.2	単相 100V	1.25	10
	三相 200V	1.25	5
0.4	単相 100V	2.0	15
	三相 200V	1.25	10
0.75	単相 100V	3.5	20

ヒューズを必ず使用してください。

※ヒューズを使用しなかったり、大きい容量のものを使用した場合は、焼損の原因となります。

事故防止のため、アースは必ず取り付けてください。

アース取付ネジは、電動機後部にあります。

※感電や火災の原因となります。

試運転

圧縮機の試運転を10分程度行ってください。

●ボールバルブは全開のまま行ってください。

●異常音や振動がないか確認してください。

制御圧力の確認をしてください。

●ボールバルブを閉じて、空気タンクの圧力が上昇するのを圧力計で確認してください。

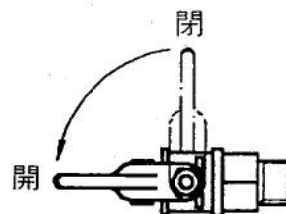
●定格圧力範囲で圧力開閉器が作動し、圧力の上昇が止まるのを確認してください。

ボールバルブを開いて、空気タンクの圧力を徐々に下げてください。

●圧力計の針が復帰圧力まで降下した時、圧力開閉器が作動し、運転を再開することを確認してください。

●作動圧力がP9「機能点検」の設定圧力より外れている時は、圧力開閉器の設定が狂っています。

P9「制御機器の設定圧力の調整」に従って調整してください。



試運転

試運転

※ 三相200Vをご使用になるお客様に運転のご注意をお願い致します。

数秒間運転して回転方向を確認してください。

● 本機の本電源を入れ確認。

正面から見て反時計回りで。

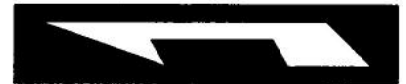
回転方向は図の通りです。

注 意

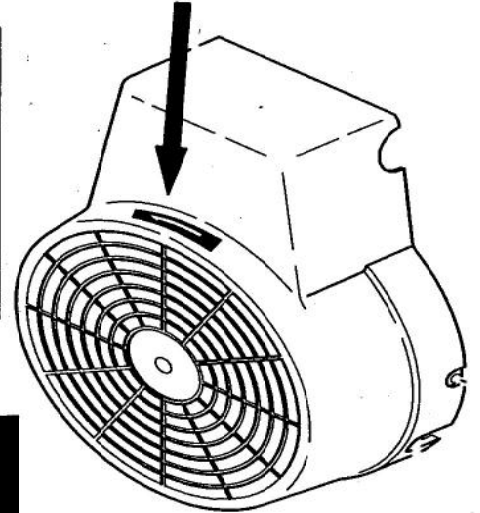
正しい回転方向で運転してください。
※回転方向が逆ですと圧縮機の冷却が行われず、過熱により圧縮機の破損や寿命低下の原因となります。



回転方向確認



回転方向銘板



回転方向が逆の時は元電源のプラグ部に接続してある電源コード3本のうち2本を入れ替えてください。

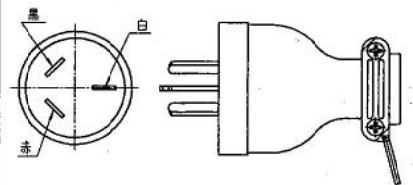
警 告

配線の入替え作業は、必ず元電源(プラグ)を切って行ってください。
※感電の危険があります。



電源の遮断

※元電源プラグ配線方法



●元電源部のプラグに接続された電気配線コードのうち、2本を入れ替えて、しっかりと端子を締め付け結線してください。

日常運転の管理

運転中

電源が運転状態の時は、本機の操作部(運転スイッチ(0.75kWの圧力開閉器上面)・ボールバルブ・安全弁・ドレンバルブ・圧力開閉器)以外の部分に手を触れないでください。
各部品の位置は、P3各部の名称をご覧ください。



注 意

運転状態の時は、操作部以外の部分に手を触れないでください。
※圧力降下により、急に回転することがあり、回転体でけがや高温部での火傷の危険があります。



警 告

設定圧以上に圧力を絶対に上げないでください。
※破損や焼損の原因となります。

運転中に異常音(カンカン音、通常と異なる音)や、異常振動(目で見ても明らかに多い、グラグラする揺れ)が発生した時は、直ちに本機の運転を停止し、原因を取り除いてから運転を再開してください。

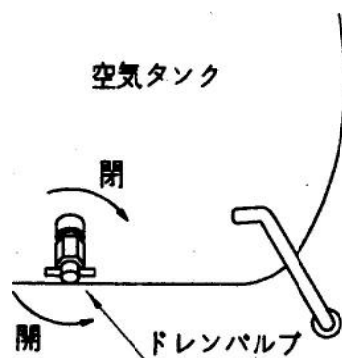


お 願 い

夏期においても運転中周囲温度が40℃以上にならないよう、換気に注意してください。
※機械の故障や寿命低下の原因となります。

運転終了

作業終了後、運転スイッチ(0.75kW)または、コンセントやブレーカー等元電源(0.2・0.4kW)を切り、ドレンバルブより空気タンク内の圧縮空気及びドレンを完全に抜き取ってください。



保守・点検

次の点検項目を定期的に行ってください。

点検は時間または時期のいずれか早く到達した時点で実施してください。また、表に上げた点検時間は標準的な使用の場合です。使用条件が過酷な場合には点検時期を早めてください。点検要領覧の※印は、販売店または当社支店・営業所で処理することが望ましい内容です。

■保守・点検一覧表

○……点検

●……分解・点検(摩耗・異常部品は交換)

点検項目	点検整備時間				点検要領
		200h毎	2500h毎	4000h毎	
	毎日	毎月	1年毎	1.5年毎	
空気タンクのドレン抜き	○				使用后、空気タンクのドレンバルブを開きドレンを抜いてください。 □ドレンは、空気タンクに圧力がないと抜けません。
圧力開閉器の作動圧力確認	○				作動圧力はP9 参照 狂っている場合は、調整または交換※
安全弁の作動確認	○				最高圧力付近で安全弁の心棒をつまみ上げ、吹き出しを確認する
異常振動・異常音	○				異常のある場合はP10参照
ボルト・ナット ネジ類の緩み		○			適正な工具で各部を増し締め
吸込濾過器濾層		○			エア吹きにより粉塵を除去、汚れがひどい場合は交換
圧縮空気の漏れ			○		最高圧力で30分間放置し、圧力降下が最高圧力の15%以内であるか確認 圧力降下が多い場合は、点検・整備※
総合点検	電装品			○	接点の荒れを点検 不具合があれば交換※
	配管部品			○	硬化、ひび割れなどあれば新品と交換
	圧力計			○	圧力計の指針が圧力0の時、0を指すか確認
圧縮機本体廻りの点検	弁セット				● 弁セットに付着した摩耗粉を除去または交換※
	ピストンリング				● 摩耗を確認し一部の幅が下記寸法になったら交換※ 0.2、0.4kW---2.5mm、0.75kW---3.2mm
	ピンカバー Oリング				● 摩耗、傷など異常があれば、交換※ ピンカバーはピストンリングと同時に交換
	ピストン				● ピストン・シリンダの傷、シリンダ段付き摩耗などの多い場合は交換※
	シリンダ				● ピストンリング下面の付着物は除去・清掃※
	接続棒 ピストンピン				● 小端部ベアリンググリスは不足している場合は補給※ 回転させたときゴツゴツ感がある場合は交換※
ベアリング				● 回転させたときゴツゴツ感がある場合は交換※	

保守・点検

■分解上の注意



警

告

コンセントを抜くかブレーカーのスイッチを切るなど元電源を必ず切って作業して下さい。
※急に運転状態になりけがをすることがあります。
空気タンク内の圧縮空気を完全に抜いてから作業をしてください。
※分解時、部品が飛んでけがをすることがあります。

必ずコンセントを抜くかブレーカーのスイッチを切るなど元電源を切り、空気タンク内の圧縮空気を完全に抜いてから作業を行ってください。

分解した部品は分解手順に従って、並べて置くと組立作業を楽に行うことができます。

- 各部品の摺動面・パッキン面・はめ合い部分を傷つけたり・変形させないように取扱には十分気をつけてください。
- 羽根（樹脂ファン）の部分をつかんで、ボルトを締めたり緩めたり、また勢いよく回転させたり圧縮空気が空気タンクに溜まったまま回転させたりしないでください。



お

願

い

ピストン・連接棒の分解は特殊工具が必要です。販売店または当社支店・営業所にご依頼ください。

■組立上の注意

各部品は軟らかい布などで清掃してから組み付けてください。

組み付け完了後、ファン中央部を手で軽く廻し、なめらかに廻ることを確認してから運転してください。

■部品購入について

部品をご購入の際は、本機の形式と付属の立体分解図と部品表を参考にして、必要な部品名と部品番号をご指定の上、販売店または、最寄りの当社支店・営業所にお申しつけください。

保守・点検

■機能点検

圧力制御機器の設定圧力

圧力開閉器、安全弁の設定圧力は次表の通りです。

設定圧力 Mpa[kgf/cm ²]	最高圧力 Mpa[kgf/cm ²]	0.70[7.1]
圧力開閉器	作動圧力 (運転を止める)	0.70[7.1]
	復帰圧力 (運転を始める)	0.50[5.1]
安全弁	吹き出し圧力	0.75[7.7]

■制御機器の設定圧力の調整



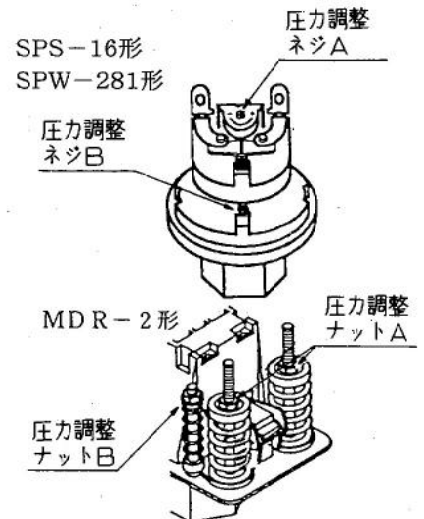
警

告

コンセントを抜くかブレーカーのスイッチを切るなど元電源を必ず切って作業して下さい。
※通電部に接触すると感電します。

圧力開閉器の設定圧力が狂った時には、次の要領で調整してください。

圧力開閉器種類	調整内容		調整方法
SPS-16形 SPW-281形	最高圧力	高くする	圧力調整ネジAを左に廻す
		低くする	圧力調整ネジAを右に廻す
	圧力差	広くする	圧力調整ネジBを上から見て右に廻す
		狭くする	圧力調整ネジBを上から見て左に廻す
MDR-2形	最高圧力	高くする	圧力調整ナットAを右に廻す
		低くする	圧力調整ナットAを左に廻す
	圧力差	広くする	圧力調整ナットBを右に廻す
		狭くする	圧力調整ナットBを左に廻す



警

告

安全弁の圧力調整は、必ず販売店または当社支店・営業所に連絡してください。
※安全弁は特に重要な装置です。設定を誤りますと爆発など重大な事故の原因になります。

故障の原因と対策

- 万が一異常が起こった場合には、次表を参考にご活用ください。
 対策欄の※印は、販売店または当社支店・営業所で処理することが望ましい内容です。

故障の状態	原因	対策
電動機が廻らない	電源が入っていない	電源を入れる
	ヒューズの熔断または配線の断線	交換
	電動機のサーマルプロテクタ作動	ひんぱんに作動する場合は原因の対策を行ってください ●電動機内蔵のサーマルプロテクタは自動復帰形です。サーマルプロテクタにより停止した場合、電動機が運転可能温度まで冷めると自動的に運転を再開します。
	電動機の故障	修理または交換※
	電圧が低い	電力会社に相談※
	圧縮機本体の焼付	修理※
	圧力が上がらない または圧力の上昇に時間がかかる	ボールバルブ・ドレンバルブの締め忘れ
各締付部・配管部の漏れ		漏れ箇所の修理・交換
安全弁からの漏れ		新品と交換
弁部の不良		清掃または新品と交換※
ピストンリングの摩耗		新品と交換※
圧力計の狂い		新品と交換
吸込濾過器濾層の目詰まり		濾層の清掃または交換
異常振動 異常音がする	据え付け不良	水平に据え付け（4脚を接地）
	圧縮機本体内部の摩耗	修理※
	部品の緩み	増し締め

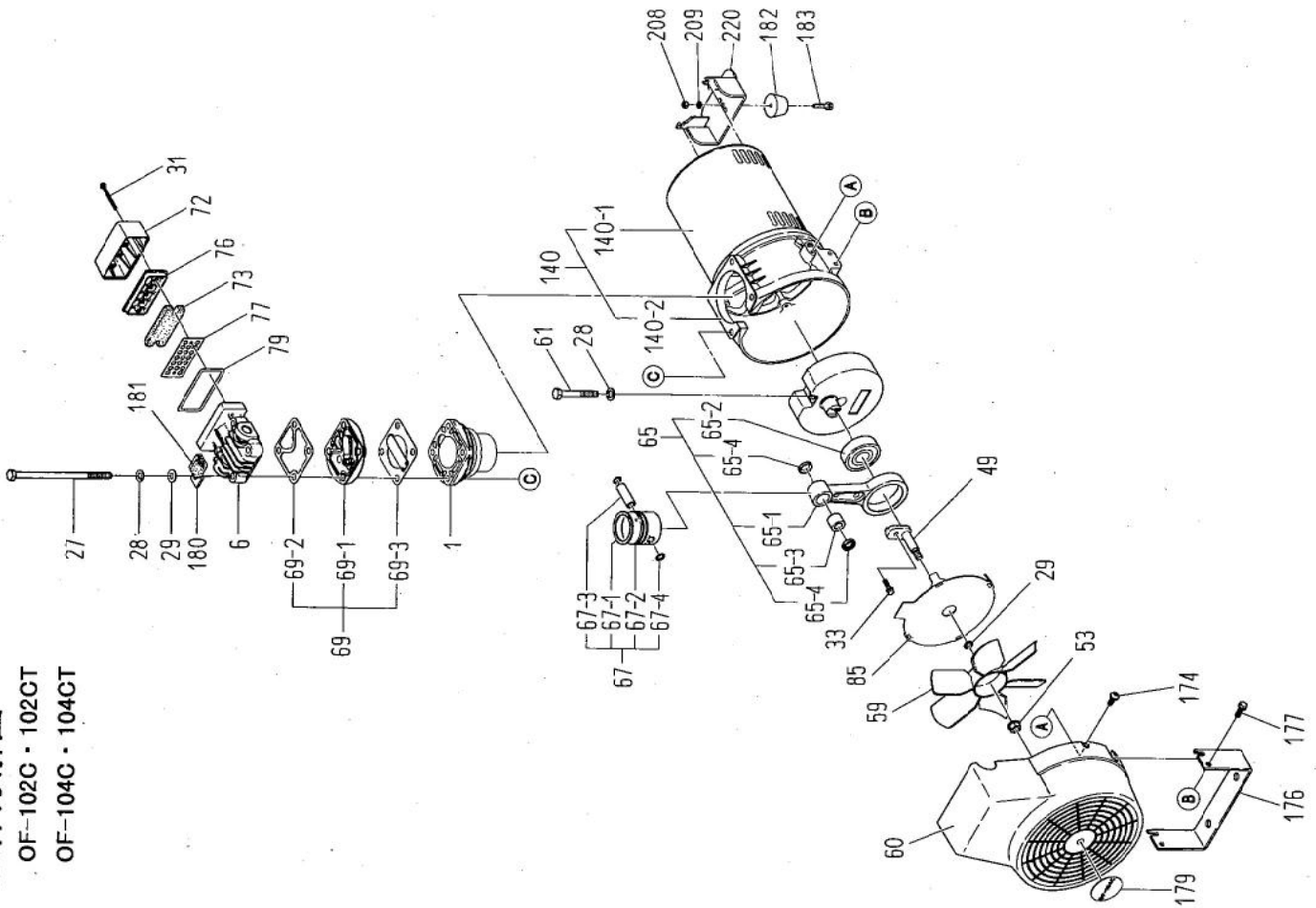


警告

電動機のサーマルプロテクタ作動で停止したときは、電源を切らずに通電部・可動部に触れないでください。
 感電、またはプロテクタ復帰により運転を再開した場合人体に重大な傷害を与える危険があります

立体分解図

OF-102C・102CT
OF-104C・104CT



部品表

OF-102C・102CT・104C・104CT

番号	部品名	個数	番号	部品名	個数
1	シリンダ	1	69-1	吐出し弁セット	1
6	シリンダヘッド	1	※69-2	シリンダヘッドパッキン	1
27	六角ボルト	4	※69-3	吸込弁セット	1
28	パネ座金	5	72	吸込濾過器カバー	1
29	平座金	5	※73	吸込濾過器濾層	1
31	座金組込みネジ	2	76	濾層支え	1
33	座金組込みボルト	1	77	濾層支え板	1
49	ファン軸	1	※79	吸込ロパッキン	1
50	ピンロータ	1	85	防音カバー	1
53	戻り止めナット	1	140	電動機セット	1
59	ファン	1	△140-1	電動機	1
60	本体カバー	1	△140-2	クランク室	1
61	高力六角ボルト	1	174	座金組込みネジ	2
65	連接棒セット	1	176	本体ステー	1
65-1	連接棒	1	177	アブセットボルト	4
65-2	ラジアル玉軸受	1	179	本体形式銘板	1
65-3	ニードルベアリング	1	180	カバーステー	1
65-4	G形シール	2	181	ステーゴム	1
67	ピストンセット	1	□182	ゴム脚	1
※67-1	ピストンリング	1	□183	アブセットボルト	1
67-2	ピストン	1	□208	六角ナット	1
67-3	ピストンピン	1	□209	パネ座金	1
※67-4	オリング	2	□220	ゴム脚ステー	1
69	パッキン付弁セット	1			

※印の部品は消耗部品です

△印の部品の客先での分解・組立は、電動機焼損等の故障の原因となりますので、個々の部品の供給は行いません。

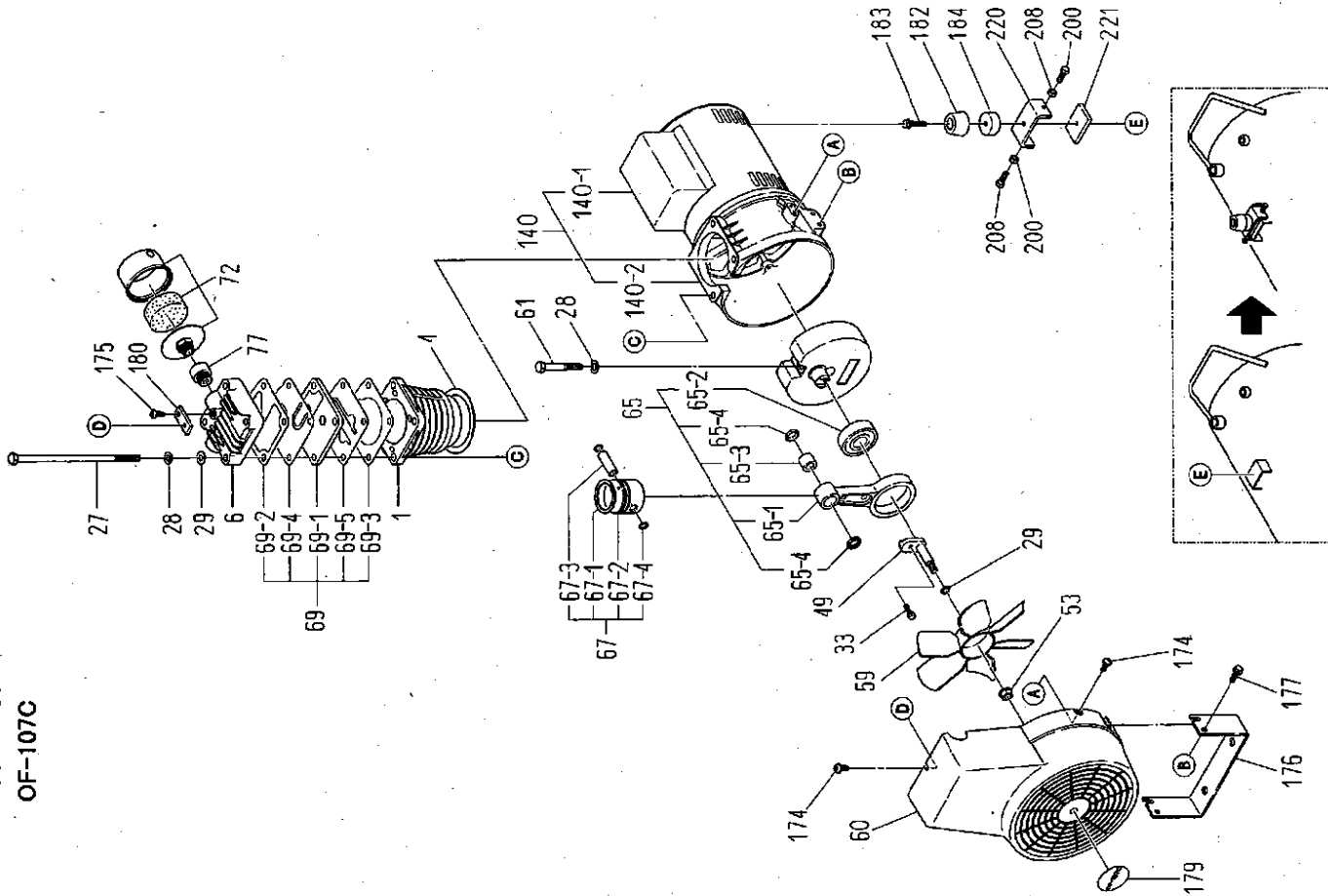
□印の部品は下記の圧縮機形式により、「部品の要・否」が異なりますので下記表中を参照し処置してください。

尚、単体出荷品には全て取り付けられていますので、「否」の場合は取り外してください。

形式	□印部品の要・否
OFF-02B・02BT	要
OFF-04B・04BT	
OFF-02C・02CT	否
OFF-04C・04CT	

立体分解図

OF-107C



部品表

OF-107C

番号	部品名	個数	番号	部品名	個数
1	シリンダ	1	69-1	バルブスベーサ	1
4	シリンダカラー(50Hz)	1	※69-2	ヘッドパッキン	1
6	シリンダヘッド	1	※69-3	スベーサパッキン	1
27	六角ボルト	4	69-4	吐出弁板	1
28	パネ座金	5	69-5	吸込弁板	1
29	平座金	5	72	吸込口セット	1
33	座金組込みボルト	1	77	吸込ロジヨイント	1
49	ファン軸	1	85	防音カバー	1
50	ピンロータ	1	140	電動機セット	1
53	戻り止めナット	1	△140-1	電動機	1
59	ファン	1	△140-2	クランク室	1
60	本体カバー	1	174	座金組込みネジ	3
61	高力六角ボルト	1	175	タップネジ	1
65	接続棒セット	1	176	本体ステー	1
65-1	接続棒	1	177	アプセットボルト	4
65-2	ラジアル玉軸受	1	179	本体形式銘板	1
65-3	ニードルベアリング	1	180	カバーステー	1
65-4	G形シール	2	181	ステーゴム	1
67	ピストンセット	1	□182	ゴム脚	1
※67-1	ピストンリング	1	□183	アプセットボルト	1
67-2	ピストン	1	□208	六角ナット	1
67-3	ピストンピン	1	□209	パネ座金	1
※67-4	Oリング	2	□220	ゴム脚ステー	1
69	パッキン付弁セット	1			

※印の部品は消耗部品です
 △印の部品の客先での分解・組立は、電動機焼損等の故障の原因となりますので、個々の部品の供給は行いません。
 □印の部品は下記の圧縮機形式により、「部品の要・否」が異なりますので下記表中を参照し、処置してください。

尚、単体出荷品には全て取り付けてありますので、「否」の場合は取り外してください。

形式	□印部品の要・否
0FP-07B	要
0FP-07C, 07CB	否

主要仕様

主要仕様

形 式	0FP-02C	0FP-02CT	0FP-04C	0FP-04CT	0FP-07CB
本 体 形 式	0F-102C	0F-102CT	0F-104C	0F-104CT	0F-107C
電 動 機 出 力 kW	0.2		0.4		0.75
電 源 V	単相 100	三相 200	単相 100	三相 200	単相 100
周 波 数 Hz	50/60 兼用				50・60 各専用
回 転 数 min-1	1430/1740	1410/1710	1430/1710	1410/1710	1430/1730
制 御 圧 力 MPa	0.5 ~ 0.7				
空 気 タ ン ク 容 量 L	15		25		36
外 形 寸 法 mm	360×570×275		460×620×285		715×670×300
質 量 kg	19		25		40
空 気 取 出 口	ボールバルブ 1個 サイズ G1/4 オス				
電 源 コード 長 さ m	2				



注 意

0.75kWの圧縮機は、地域の電源周波数と圧縮機の使用周波数は同一周波数のものをご使用ください。異なった周波数の圧縮機を使用すると、電動機の焼損や性能低下などの原因となります。

保証と修理サービス

保証について

保証書（保証規定）

お買い上げの商品を本取扱説明書にしたがって正常のご使用で万一故障がございましたときは、本保証書の記載内容により無償修理いたします。

形式	品名 圧縮機		
お客様	御社名		
	お名前		
	〒 □□□ - □□□□	ご住所	
	TEL () -	FAX () -	
保証期間	お買いあげ日 年 月 日から 「1年間」または「2500時間」 のいずれか先に到達した期間を「保証期間」とします。		
販売店	販売店名		
	〒 □□□ - □□□□	住所	
	TEL () -	FAX () -	

◇無償修理を受けるための条件および手続きと保証範囲

- (1) 本保証書をご提示のうえお買い上げの販売店又は当社支店・営業所にご依頼ください。
- (2) 本保証書に記入した内容（お買い上げ日、販売店）を確認できる納品書等を提示願います。
- (3) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in japan.
- (4) 本製品の故障または不具合に伴う生産補償、営業補償などの二次補償に対する保証は致しません。

◇次の場合は保証期間内でもお客様のご負担（有償）になります。

- (1) 本保証書のご提示が無い場合
- (2) 本保証書にお名前、お買い上げ日、販売店名の記載が無い場合あるいは字句等を書換えられている場合
- (3) 取扱上の不注意・取扱説明書の記載事項を守られなかったことによる故障および損傷
- (4) 消耗品の交換・修理
- (5) 指定外の動力源（電圧、周波数、燃料他）又は天災・地変（火災、地震、水害、塩害、落雷、公害など）による故障および損傷
- (6) 純正部品以外の部品が使用されている場合
- (7) 製品を無断で改造している場合
- (8) 当社指定の修理店以外による修理がなされている場合

◇法的責任

本保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。

従って、本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等またはご不明な点はお買い上げの販売店または当社支店・営業所までお問い合わせください。

◇保証書の保管

- 「保証書」は、内容をよくお読みになったうえで、「お客様のお名前・ご住所」、「お買いあげ日」、「販売店」など必要事項については、誠に恐縮ですがお客様にご記入していただき、納品書と共に大切に保管してください。
- 本保証書は紛失されても再発行しませんので、大切に保管してください。

保証と修理サービス

修理サービスについて


修理を依頼されるときは

- 修理はお買いあげの販売店又は当社支店・営業所にご相談ください。
このときお買いあげの商品の形式名およびお買いあげの時期をお知らせください。
- 保証期間経過後の修理は、修理により機能が維持できる場合、お客様のご要望により有料にて修理いたします。
- 詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。
また、その他ご不明な点は当社支店・営業所へお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先

➤ 電話でのお問い合わせ

- ・コンプレッサ、窒素ガス発生装置、真空ポンプ、DIY 商品
に関するお問い合わせ

 **0800-111-9681**

- ・その他、上記以外に関するお問い合わせ

 **0120-917-144**

受付時間： 9:00～12:00/13:00～17:00


但し、土日・祝日・弊社指定休日を除く。

➤ メールでのお問い合わせ

当社ホームページのお問い合わせフォームをご利用ください。



<http://www.anest-iwata.co.jp>

 **アネスト岩田株式会社**

〒223-8501 横浜市港北区新吉田町 3176 番地

01902704

C058-00